

(一社)日本加速器学会 第1回会員集会

2024年8月1日

山形テルサ テルサホール

式次第

1. 会長報告
2. 広報・ウェブ理事報告
3. 編集理事報告
4. 庶務理事報告
5. 行事理事報告
6. 会計理事報告
7. 学会活性化理事報告



Particle Accelerator Society of Japan

法人化について

- 2024年4月1日をもって、日本加速器学会は一般社団法人となった。
- 旧学会の資産などは、新法人へと引き継がれた。
- 2023年の旧学会で行われた選挙結果に基づき、4月から理事会を構成。
 - 栗木雅夫(会長、代表理事)
 - 田村文彦(広報WEB理事)
 - 坂上和之(学会活性化理事)
 - 紀井俊輝(庶務理事)
 - 原田寛之(行事担当理事)
 - 末次祐介(編集理事)
 - 古川和朗(会計理事)
 - 古坂道弘(監事)
 - 平田光司(監事)

会長報告(2/6)

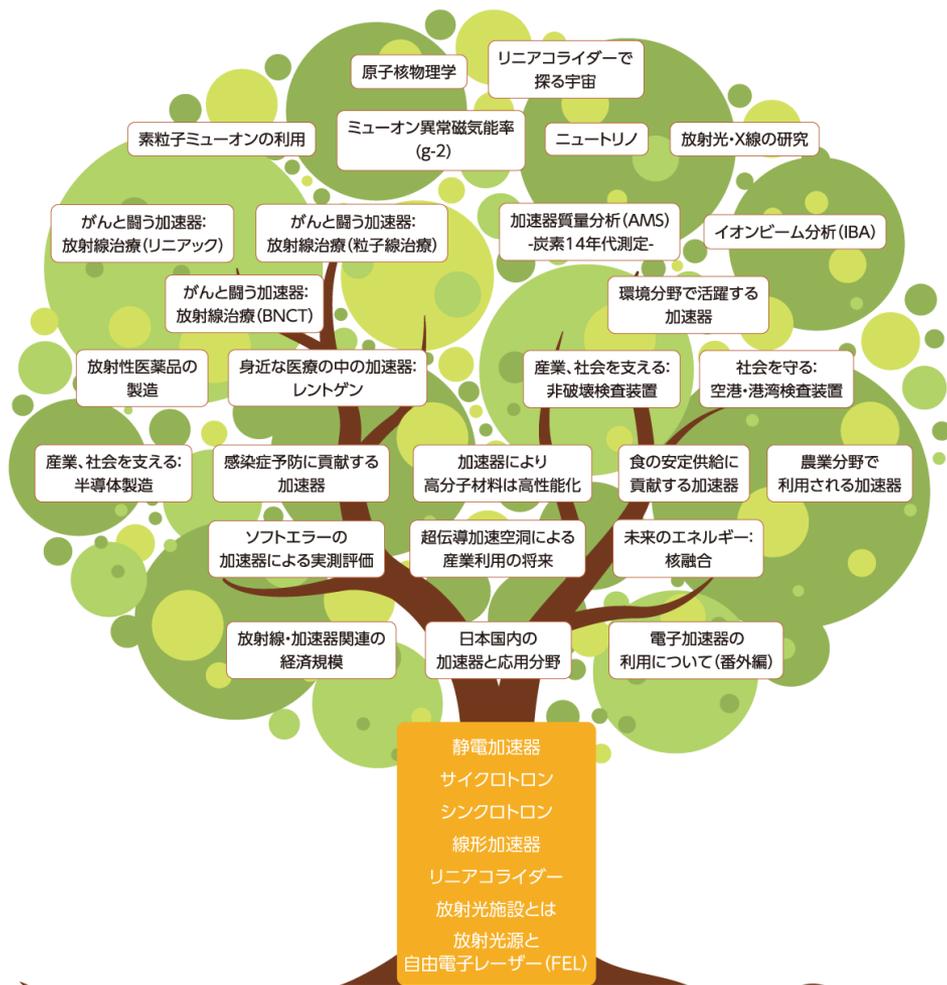
加速器俯瞰図について

- TFをつくり、内容について検討してきた。
- 2024年2月から作成に入り、7月30日にWEB版を正式リリースした。
- 今後、トピックの追加、他のメディアへの展開も検討。

TFメンバー

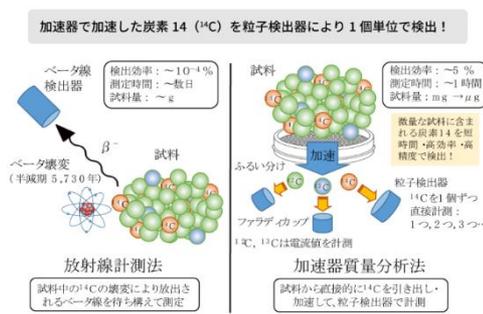
栗木雅夫(広島大)、一宮亮(ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ)、榎本嘉範(KEK)、大谷将士(KEK)、加藤新一(三菱総研)、上垣外修一(理研仁科)、笹公和(筑波大)、佐藤潔和(東芝)、島田美帆(KEK)、想田光(山形大)、中村哲朗(ミラプロ)、増田開(QST)、吉田昌弘(金属技研)

会長報告(3/6)



<https://www.pasj.jp/wordpress/>

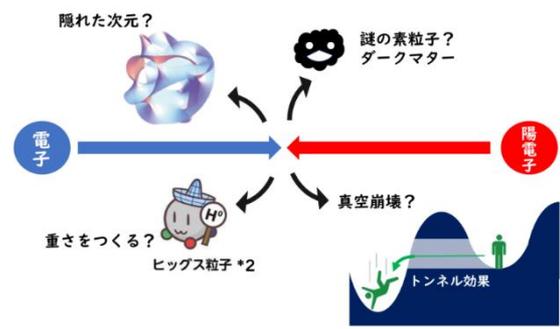
AMSによる炭素14年代測定
~ 約5万年前まで年代測定に適用可能



炭素 14-AMS の利用分野: 考古学, 文化人類学, 医学, 農学, 工学, 環境科学, 薬物動態試験, 宇宙物理学, 法科学, プラスチックや燃料のバイオベース度測定など

AMSによる同位体分析 - 考古学・文化財の年代測定から宇宙線物理まで -

ビームで創るミニビッグバン



会長報告(4/6)



日本加速器学会
Particle Accelerator Society of Japan



加速器シンポジウム「生活と加速器」 5月27日 九段会館テラス

- 法人化を機に、学会の社会との情報共有を目指し、シンポジウムを開催。
- 加速器が社会生活に直接利用されている現状を紹介。
- 社会生活の維持発展 = 加速器科学への公共投資。
- 企業、研究機関、社会に相互利益。

<https://conference.wdc-jp.com/pasj/2024sympo/>

会長報告(5/6)

講演

- 利用の側面から見た文部科学省における加速器技術の応用について
～加速器学会に期待すること～
文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課 稲田剛毅課長
- 原子力政策と放射線利用の推進
内閣府 原子力委員会 上坂充委員長

パネルディスカッション「生活と加速器」

- 上坂充（内閣府原子力委員会、委員長）
- 小関忠（高エネルギー加速器研究機構）
- 羽島良一（量子科学技術研究開発機構、前会長）
- 佐藤潔和（東芝エネルギーシステムズ）
- 細貝知直（大阪大学産業科学研究所）
- 栗木雅夫（広島大学、会長）

動画を配信（会員限定）

<https://vimeo.com/showcase/pasj2024-sympo1st>

(pass:会員向けにメール配信済み)

次回シンポジウム課題について検討中。年二回実施。

会長報告(6/6)

- 男女共同参画、若手育成支援。
- 学会内における若手育成支援＝学会活性化理事。
- 男女共同参画、対外的な若手育成支援＝学会長。
- 男女共同参画学協会連絡会
 - 運営委員会、連絡会シンポジウムに参加。学会員への案内、議論の学会員への紹介。
 - STEM分野の男女非均衡(日本のみで顕著)～無意識のバイアス:中高生あるいはそれ以前の経験。学会単独では無理、全社会的な取り組みが必要。
 - 他学会との取り組み(物理学会等)。

広報ウェブ委員

広報理事: 田村文彦(原子力機構J-PARC)
宮本篤(東芝エネルギーシステムズ株)、田中俊成(日大)、
菊澤信宏(原子力機構J-PARC)、佐藤政則(KEK)、古川和朗(KEK)、
紀井俊輝(理研)、永井良治(量研機構)、清道明男(JASRI)

活動内容

- 通常活動(学会ウェブページの運営)
 - ・ 公募・国内外会議の情報を随時更新している。加速器施設／大学等の情報もぜひお寄せください。
- 年会参加申込・発表登録システム・年会ホームページの運用
 - ・ 年会ウェブページ、発表登録システムの運営を行っている。参加申込システムについては国際文献社に(年会予算から)委託されている。

活動内容

○年会プロシーディングス編集作業

年会プロシーディングス編集作業は、編集協力者を募集して行っている。

- 編集作業説明会は開催せず、説明資料をメールで送付する。
- 編集作業を円滑に進めるための専用ウェブページで運用。
- **今回第21回よりJaCoWと同様に参考文献をページ数制限に含めないものとする。**

○学会誌閲覧ページの運用

学会誌バックナンバーの J-STAGE 公開完了。これに伴い、学会ウェブページには J-STAGE へのリンクを載せることとし、ページ CGI の更新を完了した。J-STAGE パスワード取得機能は維持する。

○オーラルヒストリー

- 第1回分を公開、第2回は準備中(最終確認作業が遅れています)
- アンケートを実施し感想を求めるとともに、編纂作業への協力者を募りたい

○学会X(Twitter)について

- 2018年7月から日本加速器学会のXアカウントを運用中。投稿は広報理事と会長で、加速器に関すること、日本の著者による論文の紹介を行っている。
- 学会アカウント @pasj.jp のフォローをお願いします。

編集理事報告(1/8)



編集委員 (19名)

編集委員長 末次祐介(KEK)

編集委員

赤木智哉(QST), 五十嵐進(KEK), 伊藤正俊(東北大), 今尾浩士(理研),
大塚崇光(宇都宮大), 帯名崇(KEK), 川瀬啓悟(QST), 金正倫計(JAEA),
設楽哲夫(KEK), 島田美帆(KEK), 住友洋介(日本大),
想田光(山形大), 田村文彦(J-PARC), 出羽英紀(JASRI),
藤本將輝(名古屋大), 安田浩昌(東芝エネルギーシステムズ),
依田哲彦(大阪大), 涌井崇志(QST)

編集理事報告(2/8)



ここ1年の発行(毎年、4回発行)

第20巻3号(2023年10月末発行)

第20巻4号(2023年1月末)発行 特集号:「サイクロトロン」

第21巻1号(2024年4月末発行)

第21巻2号(2024年7月末発行)



編集理事報告(3/8)



今後の発行予定(毎年、4回発行)

第21巻3号(2024年10月末発行)	原稿締切7月末
第21巻4号(2025年1月末発行)	原稿締切10月末 特集号
第22巻1号(2025年4月末発行)	原稿締切1月末
第22巻2号(2025年7月末発行)	原稿締切4月末

学会誌での特集企画

*第12巻から、1月末に発行される第4号を特集号として学会誌を編成している

第12巻「広がる加速器の利用」／第13巻「広がる加速器の利用 中性子」／第14巻「国際リニアコライダー(ILC)計画と新しい科学プロジェクトのあり方」／第15巻「本格始動！ SuperKEKB 加速器」／第16巻「加速器と超伝導技術」／第17巻「大強度不安定核ビーム」／第18巻「加速器とハイパワー標的技術」／第19巻「レーザー加速」／第20巻「サイクロトロン」

21巻4号での特集テーマ 「J-Parc加速器」(仮題) で進行中。



編集理事報告(4/8)



■ 2023年度にJ-STAGEへの学会誌「加速器」の全記事搭載を終了

- 加速器学会のWEBページにあったリンク付きの表紙の一覧は無くなり、J-STAGEへのリンクのみを表示している。(下図参照)
- 発行後1年以内の即時公開以外の記事(会員限定記事)をみるためには、これまで同様、J-STAGEにログインするための購読者番号とパスワードが必要。学会WEBページにある「会員限定記事閲覧キー情報要求」(下図参照)に登録メールアドレスを入れると送られてくる。
- バックナンバーの記事以外(会告や後付けなど)も順次J-STAGEに掲載される予定。
- 学会サーバのファイルは今後も残る。新しい記事の保存は続ける。(WEBページからのリンクはなし)

新しいページ

学会誌「加速器」

日本加速器学会誌「加速器」は、2004年6月末日発行の創刊号から、年に4冊(2004年度は3冊)発行されています。

J-STAGE
学会誌の記事は国立研究開発法人J-STAGEの学術情報プラットフォーム「J-STAGE」に掲載されています。

J-STAGEのリンク
J-STAGEの公開ページはこちら(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/pasj/list/-char/ja>)です。

発行から1年を経過した号の記事はどなたでも閲覧できます。また、発行から1年未満の記事も、一部を除いてどなたでも閲覧できます。目次にある各記事の題名をクリックしてください。
なお会員限定記事の閲覧には「購読者番号」「パスワード」が必要です。加速器学会会員の方は、左のフォームに学会登録済みのメールアドレスを入力し送信すると、これらの会員限定記事閲覧用キー情報をメールで受け取ることが出来ます。

バックナンバーをご希望の方は、加速器学会事務局までお問い合わせください。(1部 2,000円)

また学会誌への論文投稿を受け付けております。学会誌への投稿の手引きがございますので、ご参照のうえ是非ご投稿ください。

- 投稿の手引き (HTML)
- 投稿の手引き (PDF 785kB)
- 「加速器」原稿テンプレート (WORD 46kB)

広告の掲載も受け付けております。広告掲載をご希望の方は、広告用のページをご覧ください。加速器学会誌編集事務局までご連絡ください。

J-STAGEのページ

J-STAGE 資料・記事を探す J-STAGEについて ニュース&PR サポート サインイン カート JA

加速器 Online ISSN: 2436-1488 Print ISSN: 1349-3833

資料トップ 巻号一覧 特集号 この資料について

J-STAGEトップ / 加速器 / 巻号一覧

このジャーナルを検索する 検索 OR 閲覧 21巻 1号 ページ 閲覧

巻号一覧

最新号
選択された号の論文の16件中1~16を表示しています

メタデータをダウンロード すべての記事を表示する

巻号一覧

巻号	発行日	公開日	DOI
21巻 (2024)	2024年 21巻 1号 p. 1-2	発行日: 2024/04/30 公開日: 2024/05/15	https://doi.org/10.50868/pasj.21.1.1
20巻 (2023)			
19巻 (2022)			
18巻 (2021)			
17巻 (2020)			

PDF形式でダウンロード (2756)

これまでのページ

バックナンバー一覧

各巻のアイコンの赤い番号は、アイコンをクリックするとJ-STAGEの会員登録記事の閲覧に必要な「購読者番号」と「パスワード」は、本ページの「会員専用WEB閲覧キー入力」によりメールでお届けいたします。

巻号	発行日
加速器 Vol.18 No.1	2022年4月30日発行
加速器 Vol.18 No.2	2021年7月31日発行
加速器 Vol.18 No.3	2021年10月31日発行
加速器 Vol.18 No.4	2022年1月31日発行



J-STAGE用IDとパスワードの要求

編集理事報告(5/8)



■ 学会誌記事(学会WEB)のダウンロード数 (2023.06.01 – 2024.05.31)

- 2023年度で学会誌バックナンバーのJ-STAGEへの搭載を完了した。
- このダウンロード数は学会サーバの記事のダウンロード数。J-STAGEからのダウンロードは含まれていない。→ 比較的古い記事のダウンロードが多い。
- 毎日同じIPアドレスから機械的に(ほぼ同時刻)同じ記事がダウンロードされるものは除いた。また、IPアドレスとダウンロード記事が重複しているものは1件と数えた。

	DL数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1 (1)	2634	16	4	特集	超伝導入門	荻津透
2 (2)	1476	8	4	解説	真空中の放電現象	小林信一
3 (3)	1056	13	4	特集	加速器を用いた中性子源	鬼柳善明
4 (4)	1047	2	2	加速器と社会	港湾・空港セキュリティとX線検査	萬代新一
5 (6)	420	2	2	話題	PET用小型サイクロトロンの開発	熊田幸生
6 (11)	419	13	1	話題	ECRイオン源の開発—理研での結果を中心に—	中川孝秀
7 (10)	416	12	4	特集	加速器を用いた半導体デバイスへの放射線照射試験	牧野高紘
8 (5)	396	16	4	特集	実用超伝導材料開発の歴史と将来に向けての動向	淡路智
9 (7)	385	9	3	話題	EPICSを使った制御システム入門	中村達郎
10(13)	383	6	1	対談	ノーベル物理学賞受賞記念対談「益川敏英先生—川合光先生」	益川敏英, 川合光

*() は前年[2022.07.01-2023.06.30]の順位

PDF総ダウンロード数 97,859 [のべ125,758]
(昨年は70,177 [のべ92,274])

編集理事報告(6/8)



■ 学会誌記事(J-STAGE)のダウンロード数 (2023.06.01 – 2024.05.31)

- 2023年度で学会誌バックナンバーのJ-STAGEへの搭載を完了した。
- このダウンロード数はJ-STAGEからのPDFダウンロード数。学会サーバからのダウンロードは含まれていない。→ 比較的新しい記事のダウンロードが多い。
- 今後はこちらからのダウンロードが主になっていくか。
- クローラーを除く。

ちなみに、最新の月間アクセス数ランキングは <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/pasj/-char/ja> で見える。

	DL数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1(1)	26075	20	1	談話室	育児休業のすすめ:ニューヨークで専業主夫になった物理学者	久保毅幸
2(31)	481	19	4	特集	ハイパワーレーザーの基礎	桐山博光
3(2)	468	18	3	解説	次世代パワー半導体技術の最新動向	田中保宣
4(3)	352	18	2	解説	加速器施設廃止のための放射化の測定と評価	松村宏
5(4)	321	18	2	話題	電子線形加速器を利用した医療用放射性核種の製造	田所孝広
6(42)	309	16	3	話題	加速器エネルギーフロンティア, ILCとFCC	岡田安弘
7(54)	307	19	4	特集	レーザー駆動イオン加速とその応用	小島完興
8(38)	270	19	4	特集	レーザー航跡場加速の基礎とX線自由電子レーザーへの応用	神門正城
9(45)	265	15	3	話題	EUVリソグラフィの現状とERLを用いた大強度EUV-FELの展望	河田洋
10(20)	260	16	4	特集	超伝導入門	荻津透

*() は前年[2022.07.01-2023.06.30]の順位

PDF総ダウンロード数 61,880
(昨年は60,716)

編集理事報告(7/8)



■ 参考:学会誌記事(学会WEB + J-STAGE)のダウンロード数 (2023.06.01 – 2024.05.31)

- このダウンロード数はJ-STAGEからと学会サーバからのダウンロード数の和。
- 学会WEBページからのダウンロード数上位の記事が多い。

	学会	J-S	DL数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1	-	1	26075	20	1	談話室	育児休業のすすめ:ニューヨークで専業主夫になった物理学者	久保毅幸
2	1	10	2894	16	4	特集	超伝導入門	荻津透
3	2	71	1551	8	4	解説	真空中の放電現象	小林信一
4	4	63	1131	2	2	加速器 と社会	港湾・空港セキュリティとX線検査	萬代新一
5	3	82	1125	13	4	特集	加速器を用いた中性子源	鬼柳善明
6	12	9	621	15	3	話題	EUVリソグラフィの現状とERLを用いた大強度EUV-FELの展望	河田洋
7	9	26	501	9	3	話題	EPICSを使った制御システム入門	中村達郎
8	8	57	490	16	4	特集	実用超伝導材料開発の歴史と将来に向けての動向	淡路智
9	-	2	481	19	4	特集	ハイパワーレーザーの基礎	桐山博光
10	5	108	478	2	2	対談	PET用小型サイクロトロンの開発	熊田幸生

PDF総ダウンロード数 159,739
(昨年は130,893)

編集理事報告(8/8)



■ 発表スライドダウンロード数 (2023.06.01 – 2023.05.31)

	DL数	年会、講演番号	タイトル	主著者
1(1)	747	pasj 2014 SSOM01	放射化物の管理について	梶本和義
2(3)	467	pasj 2013 SUOTL1	加速器における電子管技術(1)	福田茂樹
3(2)	461	pasj 2013 MOOTL1	加速器における電子管技術(2)	福田茂樹
4(4)	329	pasj 2019 SAOHT01	Neural Network Consoleと組込ボードSPRESENSEではじめるDeep Learningの活用	小林由幸
5	252	pasj 2023 TUOP02	NanoTerasu加速器コミッショニング	西森信行

■ Proceedingsダウンロード数 (2023.06.01 – 2023.05.31)

	DL数	年会、講演番号	タイトル	主著者
1 (8)	192	pasj 2010 WEPS072	SiCセラミックスの高周波誘電特性の制御	竹内保直
2 (11)	164	pasj 2018 THP018	回転機器グリス補給周期及び振動測定の考察	藤来洗裕
2 (48)	164	pasj 2021 TUP016	コンデンサの静電容量特性	中田恭輔
4	160	pasj 2022 THOB04	陽子線がん治療向け超電導 AVF サイクロトロンへのコミッショニング	江原悠太
5 (51)	156	pasj 2022 WEOA07	金属3Dプリンタにより造形された純タングステン材の評価	渡邊丈晃

* () は前年[2022.07.01-2023.06.30]の順位

- 今のところ学会WEBページからのダウンロードのみ。
- 毎日同じIPアドレスから機械的に(ほぼ同時刻)同じ記事がダウンロードされるものは除いた。また、IPアドレスとダウンロード記事が重複しているものは1件と数えた。

庶務理事報告(1/5)



学会で協賛・後援・共催の会議等(1/2)

2023年開催の会議等

開催期間	イベント名称	承認日	種類
1月29日(日)	QST量子声明・医学部門 第1期中期計画研究成果発表会 「“量子”と“生命・医学”の難しくない話」	2022年11月28日	後援
3月9日(木)-10(金)	第27回広島放射光国際シンポジウム	2023年2月8日	協賛
3月13日(月)	ニューズバルシンポジウム2023	2022年12月8日	協賛
3月13日(月)-15日(水)	2022年度量子ビームサイエンスフェスタ	2022年10月11日	協賛
5月23日(火)-26日(金)	第58回真空技術基礎講習会	2023年3月9日	協賛
6月7日(水)	日本表面真空学会 真空技術部会 2023年6月研究例会「真空とビーム応用」	2023年4月12日	協賛
6月25日(日)-30日(金)	International Symposium on Discharge and Electrical Insulation in Vacuum (ISDEIV2023) (現地開催)	2021年9月14日	後援
7月5日(水)-7日(金)	第60回アイソトープ・放射線研究発表会	2022年9月16日	後援
7月5日(木)-2024年2月15日(木)	第4回オンライン真空講習会入門講座	2023年4月24日	協賛
8月3日(木)-12日(土)	国際加速器スクールISBA23	2023年5月9日	共催
8月18日(金)-27日(日)	第17回大学生のための素粒子・原子核スクール サマーチャレンジ	2023年2月8日	後援
8月29日(火)-9月1日(金)	第60回(2023年度)真空夏季大学	2023年4月24日	協賛
9月5日(火)-2024年2月15日(木)	第3回オンライン真空応用技術講座	2023年4月24日	協賛
9月5日(火)-2024年2月15日(木)	第4回オンライン真空講習会	2023年4月24日	協賛
9月13日(水)-14日(金)	日本中性子科学会第23回年会(JSNS2023)	2023年5月11日	協賛
9月27日(水)-29日(金)	第66回日本放射化学会	2023年6月9日	共催
10月31日(火)-11月2日(木)	2023年日本表面真空学会学術講演会	2023年7月28日	協賛

庶務理事報告(2/5)



学会で協賛・後援・共催の会議等(2/2)

開催期間	会議名称	対応	許可日
2024/6/21	真空技術部会2024年6月研究例会「AIによる表面科学・真空技術の新展開」	協賛	2024/4/12
2024/10/20-24	The 10th International Symposium on Surface Science (ISSS-10)	協賛	2024/4/5
2024/10/14-18	第4回J-PARC国際シンポジウム「J-PARCの将来とJ-PARCが創る未来」(J-PARC2024)	協賛	2024/4/17
2024/11/17-22	15th International Symposium of Atomic Level Characterization for New Materials and Devices'24 (ALC'24)	協賛	2024/4/20
2024/3/14-15	The 28th Hiroshima International Symposium on Synchrotron Radiation Materials Science using VUV-SX Synchrotron Radiation Towards the future HiSOR-II project	後援	2024/2/1
2024/5/28-31	第59回真空技術基礎講習会	協賛	2024/2/15
2024/7/24-25	The 7th QST International Symposium (第7回QST国際シンポジウム)	協賛	2024/2/27
2024/7/3-2025/2/14	第5回オンライン真空講習会入門講座	協賛	2024/5/16
2024/8/20-28	第18回大学生のための素粒子・原子核スクール サマーチャレンジ	協賛	2024/2/20
2024/8/27-30	第61回(2024年度)真空夏季大学	協賛	2024/5/16
2024/9/3-2025/2/14	第5回オンライン真空講習会	協賛	2024/5/16
2024/9/3-2025/2/14	第4回オンライン真空応用技術講座	協賛	2024/5/16
未定	広島大学放射光科学研究所「先端科学体験セミナー」、「VR先端科学体験セミナー」	後援	2024/6/11
2024/10/20-24	2024年日本表面真空学会学術講演会	協賛	2024/6/27
2024/11/1-9	国際加速器スクールISBA24(The 7th International School on Beam dynamics and Accelerator technology)	後援	2024/7/22

庶務理事報告(3/5)



会員数推移

調査日	正会員(名誉会員含む)	賛助会員	購読会員	購読会員(書店)
2015年3月1日	812名(うち学生47名)	54社	10社	1社
2015年7月20日	862名(うち学生53名)	56社	10社	1社
2016年3月1日	836名(うち学生48名)	56社	9社	1社
2016年7月20日	862名(うち学生53名)	57社	9社	1社
2017年3月1日	837名(うち学生40名)	56社	8社	1社
2017年7月20日	879名(うち学生37名)	58社	8社	1社
2018年3月1日	866名(うち学生36名)	60社	9社	1社
2018年7月20日	896名(うち学生45名)	60社	9社	1社
2019年3月1日	904名(うち学生42名)	60社	8社	1社
2019年7月20日	930名(うち学生54名)	62社	8社	1社
2020年3月1日	920名(うち学生54名)	63社	9社	1社
2020年7月20日	944名(うち学生66名)	64社	9社	1社
2021年3月1日	929名(うち学生60名)	64社	9社	1社
2021年4月15日	914名(うち学生61名)	65社	9社	1社
2021年7月20日	936名(うち学生65名)	67社	9社	1社
2022年4月15日	905名(うち学生64名)	65社	9社	1社
2022年7月20日	936名(うち学生68名)	68社	9社	1社
2023年4月15日	910名(うち学生62名)	64社	8社	1社
2023年7月20日	959名(うち学生74名)	64社	8社	1社
2024年4月15日	923名(うち学生58名)	64社	7社	1社
2024年7月20日	965名(うち学生64名)	65社	7社	1社

庶務理事報告(4/5)



1. 加速器中性子連携タスクフォース

インフォーマルミーティング開催(@3F研修室 8月2日 12:00~)

近年の量子ビームの多目的利用の流れの中で、中性子に関しては研究用原子炉とJ-PARCの大強度陽子加速器を利用した中性子源がその中心となっている。学術目的での統計数を必要とする計測においてはこうした大型施設が有利である一方で、医学・産業利用、テスト計測、装置開発などの幅広い利用においては、身近に設置でき、個別にチューニングでき、時には計測対象の秘密保持も容易な中小型加速器中性子源にも利点がある。中性子科学会に属する一部研究者がこうした中小型加速器中性子源の開発・構築を進めているが、加速器に関する専門知識が不足しているため、加速器研究の専門家と連携して議論を進めたいとの要望がかねてからあり、中性子科学会と加速器学会の両研究者での議論の機会を作ってきたが、ここ数年はコロナにより対面での議論が実現できなかった。

2023年8月30日インフォーマルミーティング開催(前回年会)

中小型加速器中性子源のうちでもビーム強度が10kW以上と比較的大きな2つの中性子源(具体的には京大熊取の電子ライナックとサイクロ)の現状についてそれぞれ紹介して頂き、今後、加速器中性子源を建設する上で、中性子側の要望とそれに対応した加速器に関する検討事項を議論した(参加人数は対面とZOOM合わせて30人程度)。

中性子科学会年会中でのセッション提案を打診中

2. 外部団体への推薦

日本学術振興会 育志賞、東レ科学振興会 東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成
ヒロセ賞、山田科学振興財団 研究援助 昨年度はいずれも応募なし

庶務理事報告(5/5)



法人化後の学会運営について

旧称

新称

主な役割

総会

→ 会員集会

理事会から報告・会員から意見⇒運営に反映

評議員会 → 代議員総会

理事・監事選任

会計関係・名誉会員

幹事会 → 理事会

会員にかかわること

事業計画・年会開催地

学会賞関係

庶務関係 トピックス



- ① シニア会員制度
- ② 学会枠のある賞・助成一覧
- ③ 国際規格化対応検討委員会(特別委員会)

① シニア会員制度

会員細則で新たに定められた会員制度です。

正会員10年以上、65歳以上、常勤職以外、当該年度までの未納会費がないこと の条件を満たした会員が申請を行うことでシニア会員への移行が可能です。事務局へメールもしくは郵便で 氏名・会員番号を添えてお申し込みください。(会員移行が可能であるか事務局で確認させていただきます。)

シニア会員のメリット・制約



年会費：年額3000円（正会員(学生)と同様）

学会参加費：年会ごとに実行委員会で参加費は決めますが、21回年会(山形)は正会員(学生)と同額に設定しました。

学会誌(印刷物)の送付がなくなります。(WEB版を閲覧することは可能です。)

選挙権・被選挙権がなくなります。

シニア会員FAQ

Q1 申請後いつからシニア会員になれますか？

A1 加速器学会は会費前納制ですので、**申請のあった年度の翌年度**からシニア会員になります。**申請締切は3月**です。正会員会費の引き落とし後にシニア会員申請を行い、受理された場合返金等の手続きを行います。

Q2 申請後またはシニア会員となった後に、常勤職を得たがどうすればよいですか？

A2 **申請中の場合は、事務局に申請取下げ**の連絡を行ってください。**すでにシニア会員である場合は、その年度分の正会員との差額**をお納めください。紙媒体の学会誌は当該年度分1号にさかのぼり送付いたします。

Q3 シニア会員であるが、紙の学会誌が欲しい。

A3 **自己都合により一般会員へ戻ることはできません**。どうしても紙の学会誌を読みたい場合は、購読会員を新規にお申し込みください。

② 学会枠のある賞・助成一覧



日本学術振興会 例年 4月頃 2名推薦可能(男性のみの場合は1名)
育志賞 博士課程学生対象 副賞110万円

東レ科学振興会 **募集中 8月末締め切り** 複数名推薦可能
東レ科学技術賞 科学に貢献した人 副賞500万円
東レ科学技術研究助成 若手対象(45歳以下) 3000万円まで

ヒロセ財団 例年 10月頃 1名推薦可能
ヒロセ賞 「情報・通信・電気・電子工学関連分野」 副賞3000万円

山田科学振興財団 例年 10月頃開始、2月頃締め切り 複数名推薦可能
研究援助 独立研究者(年齢制限なし) 150~300万円
昨年から女性活躍支援枠、チャレンジ支援枠が創設

③ 国際規格対応検討委員会の発足

近年、加速器関係の国際規格の提案が相次いでいます。

産業用非破壊検査装置、サイクロトロン、加工用リニアックが提案されています。2023年からハイペースで申請が出はじめ、今後も年間3件のペースで申請が続くことが見込まれています。

加速器学会では、IEC(国際電気標準会議)の国内委員会からの情報を集約し、提案された規格に興味を持つ会員(個人・賛助とも)への橋渡しを行うための特別委員会を設置を決定しました。

8月2日 18:00~20:00 にインフォーマルミーティングを開催します。
国際規格とはどういうもの?という方から、国際規格への関与により日本の加速器産業のガラパゴス化を回避し高い国際競争力の保持に興味がある方まで幅広く現状と将来動向について、意見交換を行います。 **@3階研修室**

行事理事報告(1/6)



行事委員 (※2名新任)

原田 寛之	行事委員長／日本原子力研究開発機構 J-PARC
仲井 浩孝	前行事幹事／高エネルギー加速器研究機構
田村 文彦	広報委員長／日本原子力研究開発機構 J-PARC
菊澤 信宏	予稿集・論文集担当／日本原子力研究開発機構 J-PARC
※ 清道 明男	予稿集・論文集担当／高輝度光科学研究センター
清水 洋孝	会場・企業展示担当／高エネルギー加速器研究機構
黒田 隆之助	プログラム担当／産業技術総合研究所
坂上 和之	プログラム担当／東京大学
大谷 将士	プログラム担当／高エネルギー加速器研究機構
紀井 俊輝	年会ウェブ担当／理研
※ 杉村 仁志	年会ウェブ担当／高エネルギー加速器研究機構
田中 俊成	年会発表申込システム担当／日本大学
山本 尚人	年会発表申込システム担当／高エネルギー加速器研究機構
早川 恭史	第20回組織委員長／日本大学
境 武志	第20回実行委員長／日本大学
肥後 寿泰	第20回プログラム委員長／高エネルギー加速器研究機構
岩井 岳夫	第21回組織委員長／山形大学
想田 光	第21回実行委員長／山形大学
門叶 冬樹	第21回プログラム委員長／山形大学
林崎 規託	第22回実行委員長／東京工業大学
羽倉 尚人	第22回副実行委員長／東京都市大学
坂上 和之	第22回プログラム委員長／東京大学

行事理事報告(2/6)



第21回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 山形大学医学部、山形大学理学部
- 会期： 2024年 7月 31日(水)～8月 2日(金)、3日(土)は見学
(8月 5日(月)～7日(水)は、山形花笠まつり)
- 会場： 山形テルサ (JR山形駅から徒歩10分)
- 特別講演： やまぎん県民ホール (山形テルサの隣)
- 懇親会： 山形国際ホテル (本日夕刻から5年ぶりの開催)
- 見学： 山形大学医学部附属病院・山形大学医学部東日本重粒子センター
山形大学高感度加速器質量分析センター
- 実施体制：

組織委員長	：	岩井 岳夫	(山形大学医学部)
プログラム委員長	：	門叶 冬樹	(山形大学高感度加速器 質量分析センター)
実行委員長	：	想田 光	(山形大学医学部)

行事理事報告(3/6)



第21回日本加速器学会年会 開催状況報告

参加者 事前: 400 名(一般会員: 290 名、一般非会員: 70 名
学生会員: 25 名、学生非会員: 10 名) ※ 7/9 時点

研究発表

合同セッション	: 4件 (4件)	※発表番号通知時, ()内は前回
口頭発表	: 56件 (62件)	
ポスター発表	: 285件 (235件)	
萌芽的加速器技術の提案	: 0件 (2件)	
施設技術報告ポスター	: 37件 (34件)	
年会賞応募	: 33 件 (40件)	口頭:6件、ポスター:27件

講演

学会賞受賞講演 : 2件 (技術貢献賞:2)

企画セッション : 「大電流蓄積リング真空システムの技術的課題
－KEKB加速器での経験－」
「放射光加速器のグリーン化 - SPring-8/SACLA加速器
コンプレックスにおける取り組みと展望 -」

展示・広告 企業展示 : 56社 60小間 (賛助会員:33社、非賛助会員:23社)
スタンプラリー実施中(先着80名に景品贈呈)

第22回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催(予定): 東京科学大学総合研究院ゼロカーボンエネルギー研究所、
東京都市大学理工学部原子力安全工学科/理工学部原子力研究所、
東京大学大学院工学系研究科原子力専攻
- 会期: 2025年8月6日(水)～9日(土) (予定) ※施設見学も含む
- 開催地: 東京都
- 会場: 東京都市大学 世田谷キャンパス
- 特別講演: 検討中
- 懇親会: 会場内で実施予定
- 見学: 検討中
- 実施体制:

実行委員長	:	林崎 規託 (東京科学大学)
プログラム委員長	:	坂上 和之 (東京大学)
副実行委員長	:	羽倉 尚人 (東京都市大学)

行事理事報告(5/6)



第23回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催：量子科学技術研究開発機構 次世代放射光施設整備開発センター
東北大学 先端量子ビーム科学研究センター
- 会期：2026年8月25日(火)～8月28日(金)の内、3日間(予定)
- 開催地：宮城県仙台市
- 会場：仙台国際センター(予定)
- 特別講演：検討中
- 懇親会：検討中
- 見学：3GeV高輝度放射光施設ナノテラス、
東北大学先端量子ビーム科学研究センター
- 実施体制：

実行委員長	：	西森 信行	(量子科学技術研究開発機構)
プログラム委員長	：	安積 隆夫	(量子科学技術研究開発機構)
副実行委員長	：	伊藤 正俊	(東北大学)
副実行委員長	：	上島 考太	(量子科学技術研究開発機構)

加速器学会年会の運営について

プロシーディングス提出期限の厳守にご協力を

- 提出期限は年会会期後(8月5日(月) 24:00)です。

アンケートにご協力を

- 会員、参加者の声でより良い年会にしていきたいです。

企業展示にお越しいただき、ご商談・ご歓談を

- 年会収入は企業展示の出展費で支えられております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

会計理事報告(1/9)



2023年度日本加速器学会決算報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部		(単位:円)		
科 目	細 目・備 考	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入		11,057,600	11,172,600	11,633,600
正会員	当年度分(144件+前年度前受金705件)×8,000円 過年度分55件×8,000円、8件×6,000円、1件×5,000円、1件×4,000円	6,610,000	6,792,000	7,289,000
学生会員	当年度分(27件+前年度前受金26件)×3,000円、 過年度分8件×3,000円	190,000	183,000	183,000
賛助会員	当年度分(33口+前年度前受金305口)×12,000円	4,140,000	4,080,000	4,056,000
購読会員	当年度分8口×12,000円	108,000	108,000	96,000
書店経由購読会員	当年度分1口×9,600円	9,600	9,600	9,600
事業収入		6,630,199	14,394,100	14,907,174
会誌販売収入	学会誌売上	0	0	51,830
著者負担金収入 (以下、細目)	「加速器」Vol.20, No.1～No.4 会誌別刷収入 カラー印刷収入	891,099	680,000	619,344 157,344 462,000
会誌広告収入	「加速器」Vol.20, No.1～No.4	1,139,600	1,139,600	985,600
学術的会合収入	第20回年会	4,599,500	12,574,500	13,250,400
雑収入		140	0	151
受取利息		140	0	151
還付金		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		17,687,939	25,566,700	26,540,925

会計理事報告(2/9)

支出の部		前期実績	当期予算案	当期実績
科目	細目・備考			
学会誌出版費		4,953,747	5,170,000	6,130,644
会誌発行費 (以下、細目)	印刷・原稿管理・校正・発送・編集	4,585,487	4,800,000	5,808,664
	印刷費			4,306,038
	編集費			1,003,235
	送料・発送手数料			499,391
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	154,860	130,000	72,005
J-Stage登載費	「加速器」Vol.20.No.1～No.4 J-Stage登載費	213,400	240,000	249,975
運営費		6,001,092	12,925,000	9,625,131
学術的会合支出	第20回年会開催費	5,860,892	12,449,000	9,568,671
学会賞費	賞状用紙等	8,100	16,000	8,100
会場費	評議員会費用	0	60,000	48,360
旅費	各委員会旅費	132,100	400,000	0
事務業務費		3,962,483	4,097,000	3,961,298
業務委託費		3,450,204	3,487,000	3,409,689
	会員管理、庶務、会計、バックナンバー保管等 会員業務(原簿更新・会費請求等) 庶務(会員・役員対応に関する基礎費用) 庶務(会議対応・出張・各種案内発送等) 会計(出納簿作成・管理) バックナンバー・過去資料保管			
(以下、支払先)	国際文献社	3,263,204	3,300,000	3,409,689
	会計士	187,000	187,000	0
	司法書士			0
選挙費	会長・評議員選挙	0	90,000	92,950
その他管理費	(予算案では以下の内訳を一括して評価)	512,279	520,000	458,659
	以下、内訳			以下、内訳
サーバー関連	サーバー使用料・ドメイン使用料(HP・メール)	72,094		75,300
封筒印刷費	学会誌封筒代	110,000		110,000
備品費		0		0
消耗品費		0		19,670
通信費	宅配便、郵便代	79,140		93,114
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	0		0
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、Paypal手数料、受取人私時の手数料	163,045		160,575
印紙代		0		0
他団体発行賞への学会推薦対応		88,000		0
その他		1,401,160	1,963,000	1,939,230
租税公課	法人税、消費税	182,000	200,000	70,000
男女共同参画学協会連絡会	第21期分担当金、シンポジウム参加費	12,000	13,000	17,000
若手支援	旅費支援、研究会支援	200,000	600,000	756,223
年会特別講演撮影		0	100,000	0
オーラルヒストリー編集		0	100,000	0
J-Stage登載費	「加速器」Vol.1.No.1～Vol.6.No.4(23号/351記事) ※2024年度終了予定	943,800	950,000	922,020
シンポジウム費	第1回加速器シンポジウム「生活と加速器」			
英文校閲費	Accelerator and Medical Physics誌	63,360	0	0
その他	前期決算修正額(会誌別刷収入・カラー印刷収入二重計上分)	0	0	173,987
支出合計		16,318,482	24,155,000	21,656,303

会計理事報告(3/9)



収支差額・剰余金

科 目	細 目・備 考	前期実績	当期予算案	当期実績
収支差額		1,369,457	1,411,700	4,884,622
前期繰越剰余金		12,360,282	13,729,739	13,729,739
次期繰越剰余金		13,729,739	15,141,439	18,614,361

2023年度貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金および預金		前受金	
三菱UFJ銀行残高	11,936,623	正会員会費(2024年度729件×8,000円) (2025年度2件×8,000円)	5,848,000
みずほ銀行(年会用口座)残高	14,035,168	学生会員会費(2024年度33件×3000円)	99,000
郵便振替貯金残高	1,392,650	賛助会員会費(150口×12000円)	1,800,000
手持ち現金残高	0	未払金	
未収金	44,160	国際文献社 1-3月分委託費	1,039,790
		国際文献社 Paypal手数料	4,950
		預り金	
		第21回日本加速器学会年会 企業展示費	2,500
		前期繰越剰余金	13,729,739
		当期収支差額	4,884,622
合計	27,408,601	合計	27,408,601

会計理事報告(4/9)



2023年度資産負債明細

2024年3月31日現在

資 産 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
現金および預金	27,408,601	三菱UFJ銀行残高	11,936,623
		みずほ銀行(年会用口座)残高	14,035,168
		郵便振替貯金残高	1,392,650
		手持ち現金残高	0
		未収金	44,160
		学会誌「加速器」Vol.20,No.4著者負担金	28,160
Paypal入金分年会費	16,000		
合計	27,408,601	合計	27,408,601

負 債 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
会費前受金(3月31日現在入金分)	7,747,000	正会員会費(2024年度729件×8,000円) (2025年度2件×8,000円)	5,848,000
		学生会員会費(2024年度33件×3000円)	99,000
		賛助会員会費(150口×12000円)	1,800,000
		未払金(3月31日現在)	1,044,740
未払金(3月31日現在)	1,044,740	国際文献社 1-3月分委託費	1,039,790
		国際文献社 Paypal手数料	4,950
預り金(3月31日現在)	2,500	第21回日本加速器学会年会 企業展示費	2,500
合計	8,794,240	合計	8,794,240

会計理事報告(5/9)



剰 余 金 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
前期繰越剰余金			13,729,739
当期収支差額			4,884,622
合計			18,614,361

剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	13,729,739
当期収支差額	4,884,622
次期繰越剰余金	18,614,361

会計理事報告(6/9)



監査報告書

日本加速器学会の2023年4月1日～2024年3月31日の決算書について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2024年5月22日

日本加速器学会

監事 伊田光司 

監事 古坂真弘 

会計理事報告(7/9)



2024年度日本加速器学会予算案

(2024年4月1日～2025年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	細 目	2024年度予算(A)	2023年度実績(B)	増減高(A-B)
会費収入		11,303,600	11,633,600	-330,000
正会員	865名×8,000円	6,920,000	7,289,000	-369,000
学生会員	58名×3,000円	174,000	183,000	-9,000
賛助会員	343口(64社)×12,000円	4,116,000	4,056,000	60,000
購読会員	7口×12,000円	84,000	96,000	-12,000
書店経由購読会員	1口×9,600円	9,600	9,600	0
事業収入		18,255,100	14,907,174	3,347,926
会誌販売収入	学会誌売上	0	51,830	-51,830
著者負担金収入	会誌別刷収入、「加速器」Vol.20,No.1～No.4	680,000	619,344	60,656
会誌広告収入	「加速器」Vol.21,No.1～No.4	985,600	985,600	0
学術的会合収入	第21回年会(現地開催)	16,589,500	13,250,400	3,339,100
雑収入		40,000	151	39,849
受取利息		0	151	-151
還付金		0	0	0
その他	法人化シンポジウム非会員4000円x10人	40,000	0	40,000
その他		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		29,598,700	26,540,925	3,057,775

会計理事報告(8/9)

支出の部

科 目	細 目	2024年度予算(A)	2023年度実績(B)	増減高(A-B)
学会誌出版費		5,170,000	6,130,644	-960,644
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・編集・発送	4,800,000	5,808,664	-1,008,664
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	130,000	72,005	57,995
J-STAGE掲載費		240,000	249,975	-9,975
運営費		17,459,990	9,625,131	7,834,859
学術的会合支出	第21回年会開催費(現地開催)	16,583,990	9,568,671	7,015,319
学会賞費	賞状用紙等	16,000	8,100	7,900
会場費	会議室使用料	60,000	48,360	11,640
旅費	各委員会旅費	800,000	0	800,000
事務業務費		4,534,000	3,961,298	572,702
基本業務委託費	国際文献社基本料金	3,660,000	3,332,689	327,311
	法人税・消費税申告(税理士、国際文献社)	187,000	77,000	110,000
選挙費	会長・評議員選挙	0	92,950	-92,950
その他管理費	(予算案では以下の内訳を一括して評価)	687,000	458,659	228,341
サーバー関連	サーバー使用料・ドメイン使用料(HP・メール)		以下、内訳	
封筒印刷費	学会誌封筒代		75,300	
備品費			110,000	
消耗品費			0	
通信費	宅配便等		19,670	
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	167,000	93,114	73,886
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料		160,575	
事務用品費			0	
他団体発行賞への学会推薦対応			0	
その他		6,223,070	1,939,230	4,283,840
租税公課	法人税、消費税	200,000	70,000	130,000
男女共同参画学協会連	第22期分担金(?), シンポジウム参加費	40,000	17,000	23,000
学会活性化(若手支援等)		1,000,000	756,223	243,777
年会特別講演撮影	撮影、編集、公開	0	0	0
オールストーリー編纂	聞き取り書き起こし、出張費	100,000	0	100,000
J-STAGE掲載費	論文以外過去分2023年度繰越、2024年度終了	321,860	922,020	-600,160
英文校閲	今後実施予定無、削除	0	0	0
法人化初期費用	(前年度実施今年度支払い)	605,000	0	605,000
法人化シンポジウム開催	会場費、システム構築・運営委託費、陪席支援	931,210	0	931,210
Webシステム構築費	年会発表申込、選挙(2025年度?)	3,025,000	0	3,025,000
その他	前期決算修正額	0	173,987	-173,987
支出合計		33,387,060	21,656,303	11,730,757

会計理事報告(9/9)



収支差額・剰余金

科 目	細 目	2024年度予算(A)	2023年度実績(B)	増減高(A-B)
収支差額		-3,788,360	4,884,622	-8,672,982
前期繰越剰余金		18,614,361	13,729,739	4,884,622
次期繰越剰余金		14,826,001	18,614,361	-3,788,360

若手活動支援

2023年1月より「若手活動支援」の募集をしています。(随時受付中)

※詳細は募集ページをご参照ください。

若手活動支援 募集ページ：https://www.pasj.jp/pasj_act.html

若手の皆様からの積極的な応募をお待ちしております！



若手活動支援 - 支援実績 -

活動支援実績

年度	代表申請者氏名	代表申請者所属	若手活動支援申請タイトル	支援額	報告記事
2023	足立 智	東北大学 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	若手・学生の研究意欲向上に向けたビーム物理研究会・若手の会の研究会における旅費補助	14万円	
2023	大塚 崇光	宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科	小型加速器製作を進める高専生の現地交流会の旅費補助	17万5120円	
2023	平 義隆	分子科学研究所	第30回FELとHigh-Power Radiation研究会	6万円	
2023	森田 泰之	理化学研究所仁科加速器科学研究センター イオン源開発チーム	第二回加速器・ビーム物理の機械学習ワークショップ開催における旅費補助	16万円	
2023	リブタック ザカリー ジョン	広島大学	ISBA'23 (International School on Beam Dynamics and Accelerator Technology '23) の旅費	22万円	報告1 報告2
2022	西 隆博	理化学研究所仁科加速器科学研究センター加速器基盤研究部リニアックチーム	若手・学生の研究意欲向上に向けたビーム物理研究会・若手の会の研究会における旅費補助	20万円	報告

募集要項ページに支援実績をリストしています。報告記事も随時加速器学会誌掲載されていますので、ご参照ください。

この活動を通して、学会を活性化しようという若手(+若手をサポートする方)が増えているように感じています。ぜひ積極的にご応募ください。

学生・企業(研究機関)懇談会:行事委員会と共同開催

昨年の第1回に引き続き、2024年度も第2回の懇談会を年会に先立って7月25日夕刻に開催した。21名の学生と18ブース(企業10ブース、研究機関8ブース)の出展があった。どちらも第1回を上回る規模となり、大変盛況であった。参加者(学生・出展者)からも様々な意見をいただいております、今後も引き続き学生・若手と企業や研究機関を繋ぐ場の提供を継続・発展させていけるよう、取り組んでいきます。

<主旨>

学生と研究機関・企業を繋ぐ機会を増やすべく、年会時に「学生・企業(研究機関)懇談会」を実施する。本企画は、研究機関や企業の現場の声を学生に伝える、学生の研究開発状況を研究機関や企業の現場に伝えるなどで、相互コミュニケーションを図り、学生における就職支援による将来への不安の解消の手助け、業界における即戦力となりうる人材確保の手助けなどに繋げることを目的とする。

会員フォーラム

第1回会員フォーラムを2023年7月5日(オンライン:Zoom)で開催しました。(42名参加)

- ◆ 会員が幅広く課題意識を持っていることが明らかとなった
 - ◆ 大学・研究機関と産業界の持つ課題意識のギャップなども明らかとなった
- 加速器シンポジウムなど、いくつか関連する施策が進められており、本フォーラムは会員が自由に議論・意見交換できる場となるように構築していきますので、ぜひカジュアルにご参加いただければと思います。

